



【花木類】



①ワビスケ(コチョウワビスケ)

ワビスケはツバキの一系統であり、ヤブツバキとチャの交配種という説もあるが定かではない。大きな特徴は、雄蕊の機能が退化し、結実せず、花は半開。一般にワビスケというと、このコチョウワビスケをさすが、このほか多くのワビスケ系の品種がある。派手さがなく清楚な感じの花は茶花には最適で、千利休も好んで使ったといわれる。2月下旬から見ごろ。



③ソシンロウバイ

1月頃から開花。
花弁が蠟細工の様で香りがよい。普通のロウバイは芯の部分が褐色。



⑤カワヅザクラ

早咲きで美しいため近年人気の品種。オオシマザクラとカンヒザクラの自然交雑種といわれている。2月下旬から開花。



⑥シナミザクラ

中国原産のサクランボの仲間。花後に実がなり食用にできる。いわゆるサクランボはセイヨウミザクラで、寒冷地向きであるがシナミザクラは暖地でも育つ。開花は2月下旬から。



⑧フリンジラベンダー

葉に歯のような刻みがあるのが特徴。



⑪サルココッカ

ツゲ科の常緑低木。白い小さな花は香りがする。実と一緒に観賞できる。

⑫ハツユキカズラ

ティカカズラの品種。新芽が淡いピンクで美しい。

⑬ユリオプスデージー

南アフリカ原産の常緑低木。

②ヤブツバキの園芸品種

ヤブツバキは日本原産の植物で、世界中で観賞されるツバキの交配親になった原種。当校には園芸品種がいくつか植栽されている。上の写真は原種。下は早咲きの大輪一重の品種。原種は下のように平開しない。



3月頃になると
数品種が見られる。



⑦ウメ

古来に中国から渡來した花木。当校の個体は衰弱している。



⑩ウェストリングニア

オーストラリアンローズマリーと呼ばれるが、葉に香りはない。長期間開花する。



⑭カルーナ・ブルガリス

ツツジ科の常緑小低木。葉色や花色のバリエーションが多くあり、冬期間特に発色が美しい。英名はヘザー。暑さに弱い。

【草花・球根類】



⑯二ホンスイセン

日本原産ではなく古い時代に中国から渡來した。地中海原産。



⑯クロッカス

早春の球根植物の代表格。
紫、白、黄色などあり。



⑰ナルキッスス・
カンタブリスク

スペイン原産の原種系で早咲き



⑱クリスマスローズ各種



⑲チェックカーベリー



⑳ガザニア ビースト
シルバーフォックス



㉑ビジューマム
ローズクオーツ



㉒イオノブシジウム

ポルトガル原産の一年草。
こぼれ種で増える。



㉓ミヤコザサ

日本固有種。主に太平洋側の山野に多い。冬になると葉の縁が白く枯れて縁どりされる。



㉔ストック各種



㉕スイートアリッサム



㉖パンジー、ビオラ



㉗キンセンカ



㉘ハボタン



㉙キンギョソウ



淡路景観園芸学校

アクセス



お車で
あわじ花さじきから 5 分
淡路 IC から 10 分